PAT-NO: JP402024074A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 02024074 A

TITLE: FLOATING-UP DEVICE

PUBN-DATE: January 26, 1990

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

KATO, JUNICHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

TOSHIBA CORP

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP63169922

APPL-DATE: July 7, 1988

INT-CL (IPC): B25J005/00

US-CL-CURRENT: 294/64.3

ABSTRACT:

PURPOSE: To drastically reduce the frictional coefficient by forming plural

pairs of pressure adjusting holes permitting the mutual communication between

the positions which are nearly symmetrical with respect to the center of the $% \left(1\right) =\left(1\right) \left(1\right)$

air injection surface of an air pad body.

CONSTITUTION: Plural groups of each pair of pressure adjusting holes 20d and

20d are formed at the nearly symmetrical positions with respect to the center

on the air injection surface 20b of an air pad body 20, separately from another

air injection hole 20c group which are formed, keeping a prescribed interval in

the nearly radial direction on the air injection surface 20b. Each communication pipe 50e is arranged between the pressure adjusting holes 10d and

10d in pairs. When the air supplied from the air injection hole 20c is jetted

onto a surface plate 12, the pressure at the symmetrical position with respect

Best Available Copy

to the center shaft O of the air pad body 20 is adjusted to a certain value by

the pressure adjusting holes 20d and 20d, and the pressure center shaft Po and

the center shaft O of the air pad body 20 are allowed to correspond. Therefore, a low frictional coefficient can be secured independently of the

unevenness of the surface plate 12.

COPYRIGHT: (C) 1990, JPO&Japio

19日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

母 公 開 特 許 公 報 (A) 平2-24074

®Int. Cl. ⁵

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成2年(1990)1月26日

B 25 J 5/00

Z

8611-3F

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

ᡚ発明の名称 浮上装置

②特 顋 昭63-169922

20出 願 昭63(1988)7月7日

@発明者 加藤

純 一 神奈川県川崎市幸区小向東芝町1番地 株式会社東芝小向

工場内

⑪出 顋 人 株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

⑩代 理 人 弁理士 鈴江 武彦 外2名

明 細 48

1. 発明の名称

浮上装置

2. 特許請求の範囲

エアパッド本体の空気噴射孔より浮上面に空気を噴射して排造体を浮上させて支持してなる浮上装置において、前記エアパッド本体の空気噴射面の中心に対して略対称に位置される相互間が連通された対の圧力調整孔を複数組設けたことを特徴とする浮上装置。

3. 発明の詳細な説明

[発明の目的]

(産業上の利用分野)

この発明は、例えば宇宙用マニピュレータの 無重力地上試験装置等に用いられる浮上装置に関 する。

(従来の技術)

従来より、字宙用マニピュレータの無重力地 上試験を行なう手段としては、第3図に示すよう に、エアコンプレッサ10に連結された浮上装置 のエアパッド 1 がマニピュレーク 1 1 に複数個づつ所定の間隔に装着して、このエアパッド 1 により定盤 1 2 上に空気を噴射させることにより、マニピュレータ 1 1 を浮上させて支持し、無重力環境を確保して性能試験を行なうことが考えられている。

る被作業体の重量に比して非常に小さいために、 正確な無重力地上試験を行なうには、その摩擦係 数が地上を対象としたものよりも、さらに小さく することが要求される。

しかしながら、上記浮上装置では、浮上面となる定盤12に微妙な凹凸があると、第5図に示すように、その圧力中心軸P。がエアパッド本体1bの中心軸〇から傾斜方向に移動して回転モーメントMが発生することにより、エアパッド本体1bが角度Ө傾斜されて抵抗力Fが発生するため、その摩擦係数が高くなり、正確な地上模擬試験を行なうことが困難となるという問題を有していた。

このため、上記浮上装置にあっては、無重力地上試験を正確に行ない得るように、さらに低い摩擦係数を有するように改良することが要請されている。

係る事情は、宇宙用マニピュレータに限ることなく、太陽電池パドルの無重力地上展開試験装置等の各種の宇宙用構造体の無重力地上試験装置に用いられる浮上装置において同様のものである。

対称の位置の圧力が調整されて、圧力中心軸が常に空気噴射面の中心に位置されることにより、低い摩擦系数が確保される。また、浮上面に凹凸等がある場合においても、圧力中心が略空気噴射面の中央に近付くように制御されて摩擦係数が確保なるのが阻止され、安定して低い摩擦係数が確保される。

(宴瓶例)

以下、この発明の実施例について、図面を参照して詳細に説明する。

第1図はこの発明の一実施例に係る浮上装置に 適用されるエアパッドを取出して示すもので、中 空状のエアパッド本体20の一端部には前記エア コンプレッサ10(第3図参照)に連結される空 気供給口20 aが形成される。そして、このエア パッド本体20の他端部には、例えば前記される。 図に示すように、空気噴射面20 bが形成される。 この空気噴射面20 bには複数の空気噴射 れる。また、エアパッド本体20の空気噴射面 (発明が解決しようとする課題)

以上述べたように、従来の浮上装置では、浮上面に凹凸があると、摩擦係数が高くなるために、正確な無重力地上試験が困難であるという問題を有していた。

この発明は上記の事情に鑑みてなされたもので、 問易な構成で、かつ、可及的に摩擦係数の低下を 図り得るようにした浮上装置を提供することを目 的とする。

「発明の構成」

(課題を解決するための手段)

この発明はエアパッド本体の空気噴射孔より 浮上面に空気を噴射して構造体を浮上させて支持 してなる浮上装置において、前記エアパッド本体 の空気噴射面の中心に対して略対称に位置される 相互間が連通された対の圧力調整孔を複数組設け で構成したものである。

(作用)

上記構成によれば、エアパッド本体は、その 圧力調整孔により、空気噴射面の中心に対して略

20 bには、その中心に略対称の位置に対の圧力 調整孔20 d、20 dが上記空気噴射孔20 cと 別に複数組形成され、これら対の圧力調整孔間に は連結管20 eがそれぞれ配管される。

上記構成において、エアパッドは、その空気噴 射孔20cからの空気が前記定盤12(第2図 及び第3図参照)に噴射されると、圧力調整孔 20 d、20 dによりエアパッド本体の中心軸0 に対して対称位置の圧力が一定に調整されて圧力 中心軸P。とエアパッド本体20の中心軸Oとが 対応される。この結果、例えばエアパッド1個当 りの摩擦係数は、例えば宇宙用マニピュレータ 等の構造体の可搬重量が130kg、エアパッ ド本体20の外径が200mm、ゲージ圧力が 0. 41 k g / c m²、定盤12からの浮上量が 50μm、空気流量が0.25m³/minに設 定した場合、圧力調整孔20d,20dを設けな いと、0.003となるものであるが、相互が連 過される1、6mm径の対の圧力調整孔20d. 20 dを設けることにより、0.0005まで向

上する。これは、理論的に確認される。

このように、上記浮上装置はエアパッド本体20の空気噴射面20bの中心に対して略対称に位置される相互間が連通された対の圧力調整孔20d,20dにより、その中心に対して略対称の位置の圧力が選択的に調整されるように構成し

たことにより、圧力中心軸Poが中心軸Oに対応されるため、従来のものより摩擦係数を低下させることができ、第3図に示すような字宙用マニピュレータの正確な無重力試験を行なうことが可能となる。また、これによれば、定盤12面に凹凸等がある場合においても、圧力中心軸Poが中心軸Oに近付くように制御されて摩擦係数が確保される。

なお、上記実施例では、宇宙用の構造体の無重力地上試験に適用する場合を代表して説明したが、これに限ることなく、地上の構造体の浮上支持手段として用いることも可能である。よって、この発明の要旨を逸脱しない範囲で種々の変形を実施し得ることは勿論のことである。

[発明の効果]

以上詳述したように、この発明によれば、簡 易な構成で、かつ、可及的に摩擦係数の低下を図 り得るようにした浮上装置を提供することができ

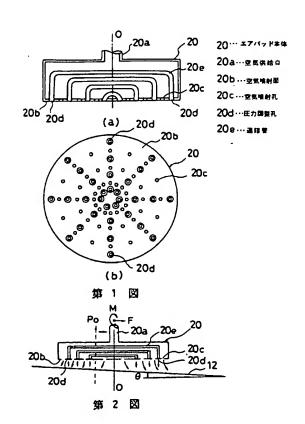
る。

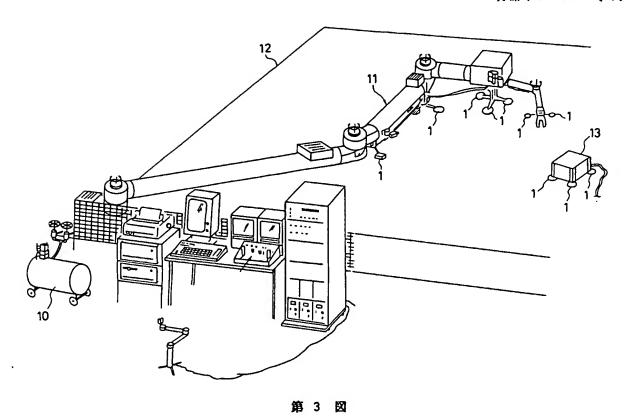
4. 図面の簡単な説明

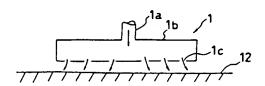
第1図はこの発明の一実施例に係る浮上装置のエアパッドを取出して示す図、第2図は第1図の動作を説明するために示した図、第3図は浮上装置の適用例を説明するために示した図、第4図及び第5図は従来の浮上装置の問題点を説明するために示した図である。

20 ··· エアパッド本体、20 a ··· 空気供給口、20 b ··· 空気噴射面、20 c ··· 空気噴射孔、20 d ··· 圧力調整孔、20 e ··· 連結音。

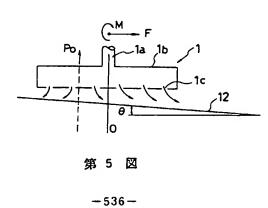
出願人代理人 弁理士 鈴 江 武 彦







館 4 図



09/28/2004, EAST Version: 1.4.1

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.